

経済学概論 A

(社会科学概説)

2005年度・前期

島岡 光一

埼玉大学教育学部

e-mail: shimaoka@mve.biglobe.ne.jp

HP = <http://www5e.biglobe.ne.jp/~shimaoka/>

ブログ: <http://plaza.rakuten.co.jp/hikaru2004/>

授業の視点 補

- 参加・参与・参画
- 身体性の重視
- 具体性
- 役を作る
- 役に立つ
- 役をする
- 自己を組織する

講義の経過

- 教科書は島岡光一編著「野麦峠に立つ経済学」(春風社)
- 教科書に沿って、約50分間講義を行なう。残る40分を研究班活動を行なう。
- 最後の4週は、研究発表および発表へのコメントを提出する。
- ティーチング・アシスタント
- テストもしくはレポートを課す。

講義の概要

- シラバスへ



リンク(自主)ゼミ

- A) A. SEN (アジア初のノーベル経済学賞受賞者) ;
BEYOND THE CRISIS (英語) **新たに**
開始
毎週木曜日 11/12時限 @ 経済学研究室
- B) マルクス
『資本論』ゼミ (日本語)
毎週木曜日 3 / 4 @ 経済学研究室

赤い靴はいていた女の子

- 赤い靴はいていた女の子の物語 曲

楽しんで単位を取ろうとする君へ

28april'05

- 「楽」しては楽しくはない(恥)
- ふつうに出席して勉強していれば取れる
- 「群れ会い」と「**出**会い」との違い
- 安易に流れるな。チャレンジャー精神を。
- マニュアル人間になるな
- 若いときに旅をいたさねば老いての物語はない
- Ever be on deck!

野麦峠に立つ経済学

—従来の济学経を超えて—

- 経済学の定義をめぐって
→ 経世済民から **済民経世**へ
- 「正統派」経済学
- 「反正統派」経済学

班分けの原則

- 1) 第1希望を優先
- 2) にも関わらず、第1希望が大世帯のばあい、第2希望の班に入ってもらった
- 3) 受講生で班の届けのないものはA班に所属するものとする
- 4) 教員の記入ミスがある場合、即刻申し出てもらいたい

野麦峠に立つ経済学 プロローグ(1)

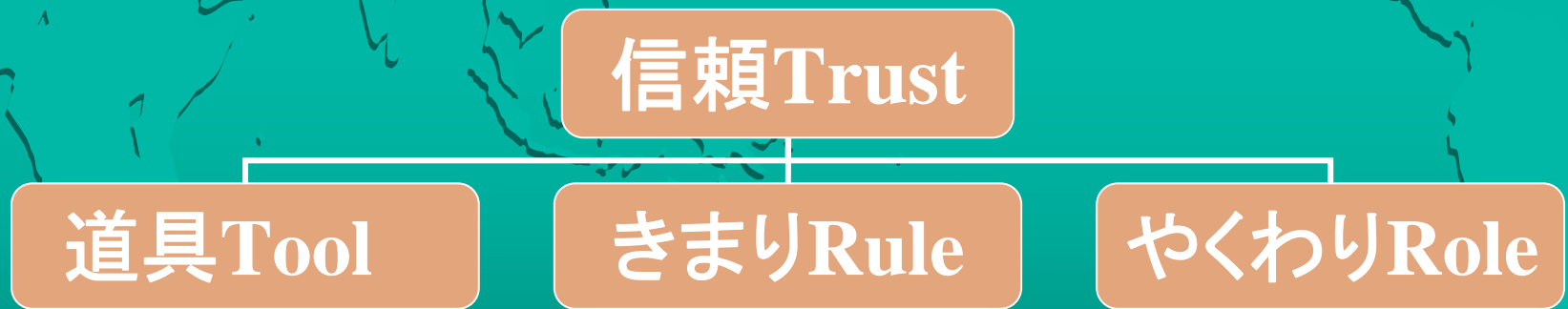
- 「済経学」の意義 (済経) (economy)
- 本当の経済学はモノ(サービス)だけを扱う学問ではない→**経済関係学**
- 河邑他『エンデの遺言』『エンデの警鐘』(NHK出版)←必読文献
- 李御寧イー・オンリョン『ジャンケン文明論』(新潮新書4月20日刊)rps jan1 jan2

jan3

ジャンケン 遊び

- ☆あっちむいてほい
- ☆野球拳
- ☆せっせのよいよいよい(歌を歌いながら)
- ☆グリコ(ちょこれえと、ぱいなつぶる)
- ☆花いちもんめ
- ☆ジャンケン・ブルドッグ
- ☆おちゃらかおちゃらかおちゃらかほい
- ☆長馬跳び
- ☆荷物運び(学校の帰り道でよく見かけた)
- ☆お大臣乞食
- ☆お寺のおしょさん

T-TRR



発表 スケジュール

- ① 7月07日 夕鶴
- ② 7月14日 サーカス
- ③ 7月21日 モモ
- ④ 7月28日 ヴェニスの人
- ⑤ 8月04日 テスト

第2章 逆倒アプローチ

★イヴァン・イリイチ—イリイチ追悼

★歴史の地下茎(幕末★—明治自由民権運動—大正デモクラシー—戦後改革—ベトナム反戦・カウンターカルチャー運動)

★インターネット(以後Netと表記)リンク

★コンヴィヴィアリティconvivialityの語義

祝祭的な→自立共生、相互親和、自律共働性、生き生きとした共生、ともに生きること、共愉、「共命」

経済学概論 A

2005.6.16

第二章 逆倒アプローチ(2)

- ★イリイチのターミノロジーはなぜ訳しにくいか？→
逆倒法invert, inversion
- ★ヴァナキュラーvernacular→根基層
- ★遠近法とは？
- ★スペクトル制度
- ★学校の逆倒
- ★学習のための網状組織WEB→Net
- ★固有の倫理的価値

経済学概論 A

2005. 6. 16

第二章 逆倒アプローチ(3)

- ★学校批判→産業主義批判
 - ★産業主義的生産性上昇→コンヴィヴィアリティ減
 - ★自分とともに働いてくれる新しい道具
 - ★生存・公正・自律の新しい政治→もつとも恵まれない人々に最大の社会的自由を
- ジョン・ロールズ マキシミン・ルール
- ★民衆によるサイエンス

経済学概論 A

2005.6.23

- 発表の注意点
- 1) 発表班に実質的に参加(参与・参画も含む)した者のみ名前を明示すること
- 2) 発表は、セリフを嚙んでもいいから、はっきりと恥ずかしがらずに演ずること(演出)

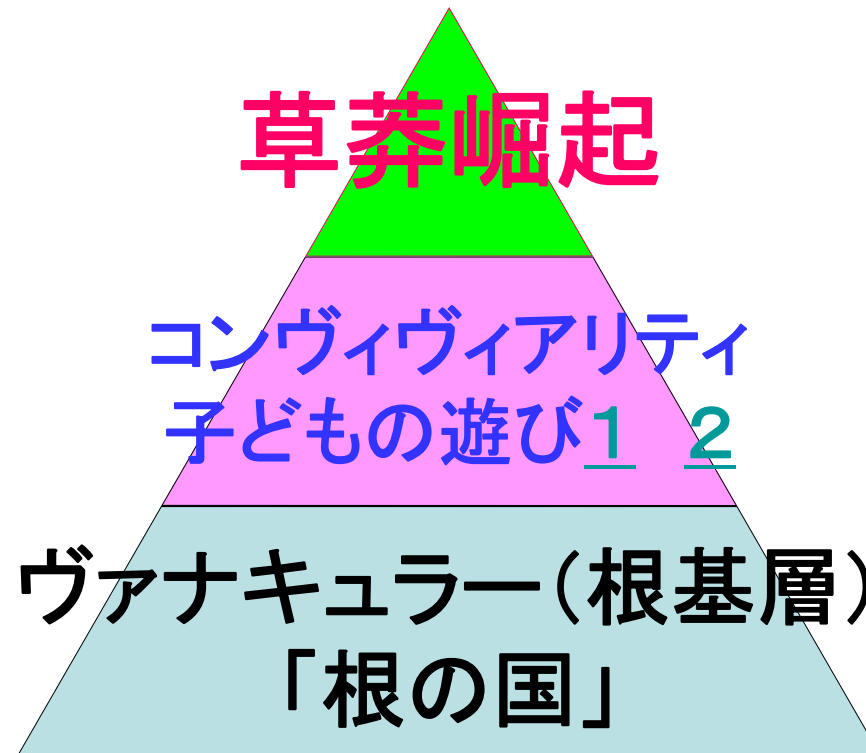
経済学概論 A

2004. 5. 27

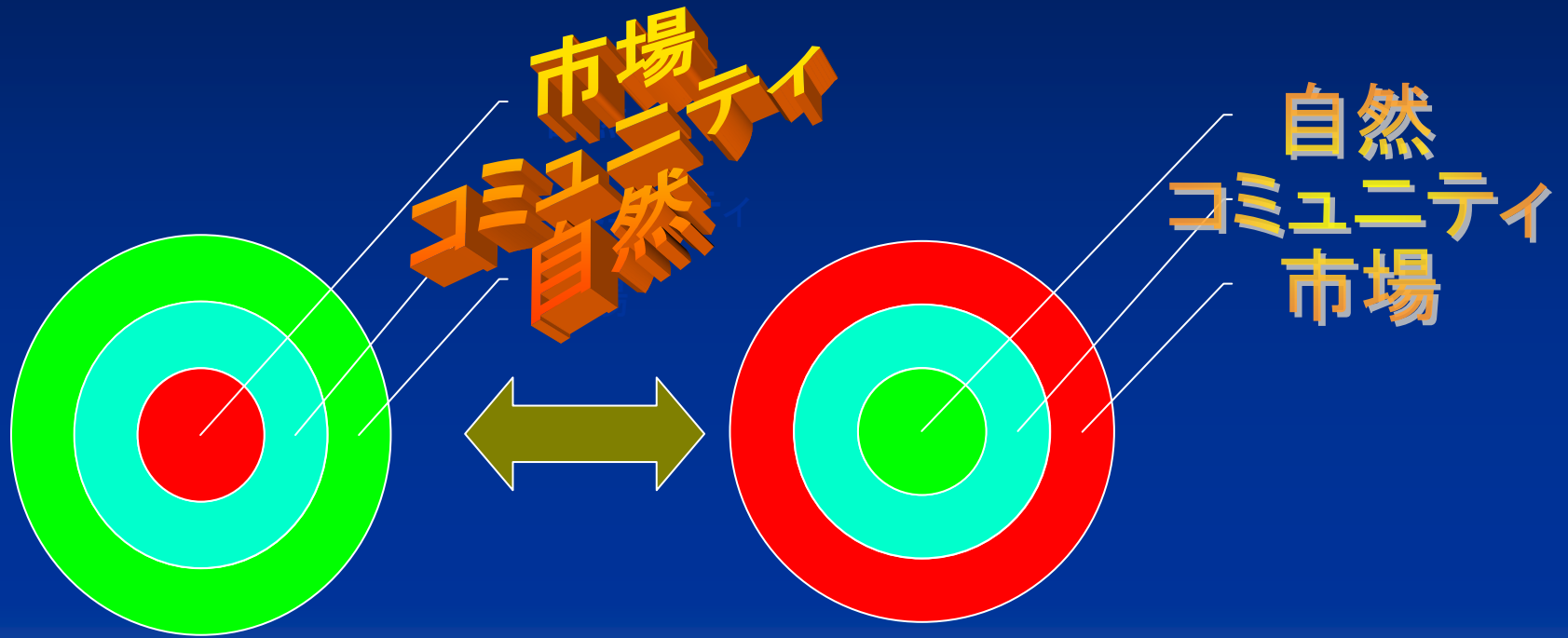
第二章 逆倒アプローチ(4)

- ★民衆によるサイエンス←機械論的サイエンス
- ★ヴァナキュラーな領域(根基層領域)→「根の国」の発見
- ★PCやNetはコンヴィヴィアリティのための道具になりうるか？
- ★A.センのケイパビリティ・アプローチ

関係力の制度的土台



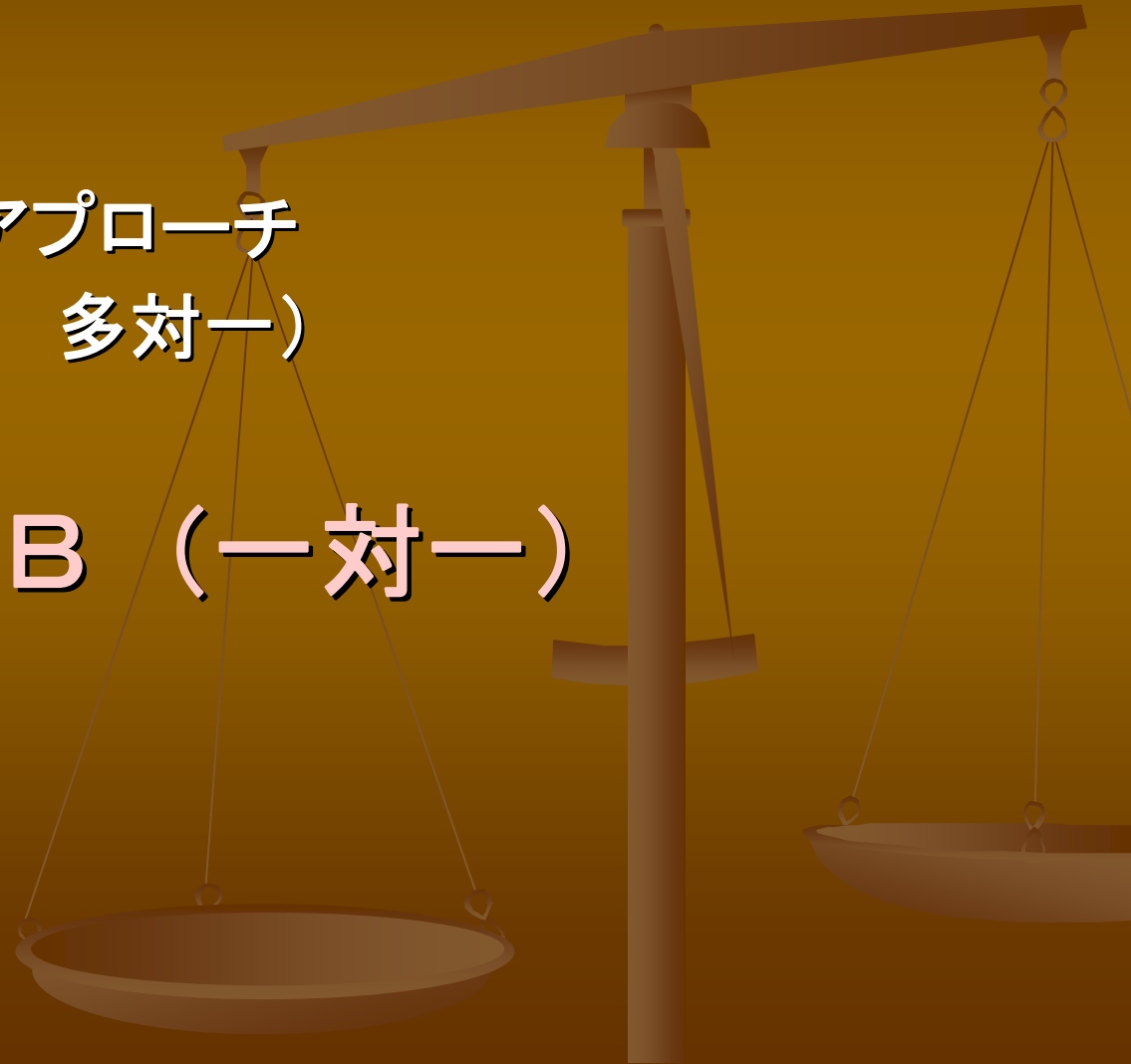
自然—コミュニティ—市場の関係



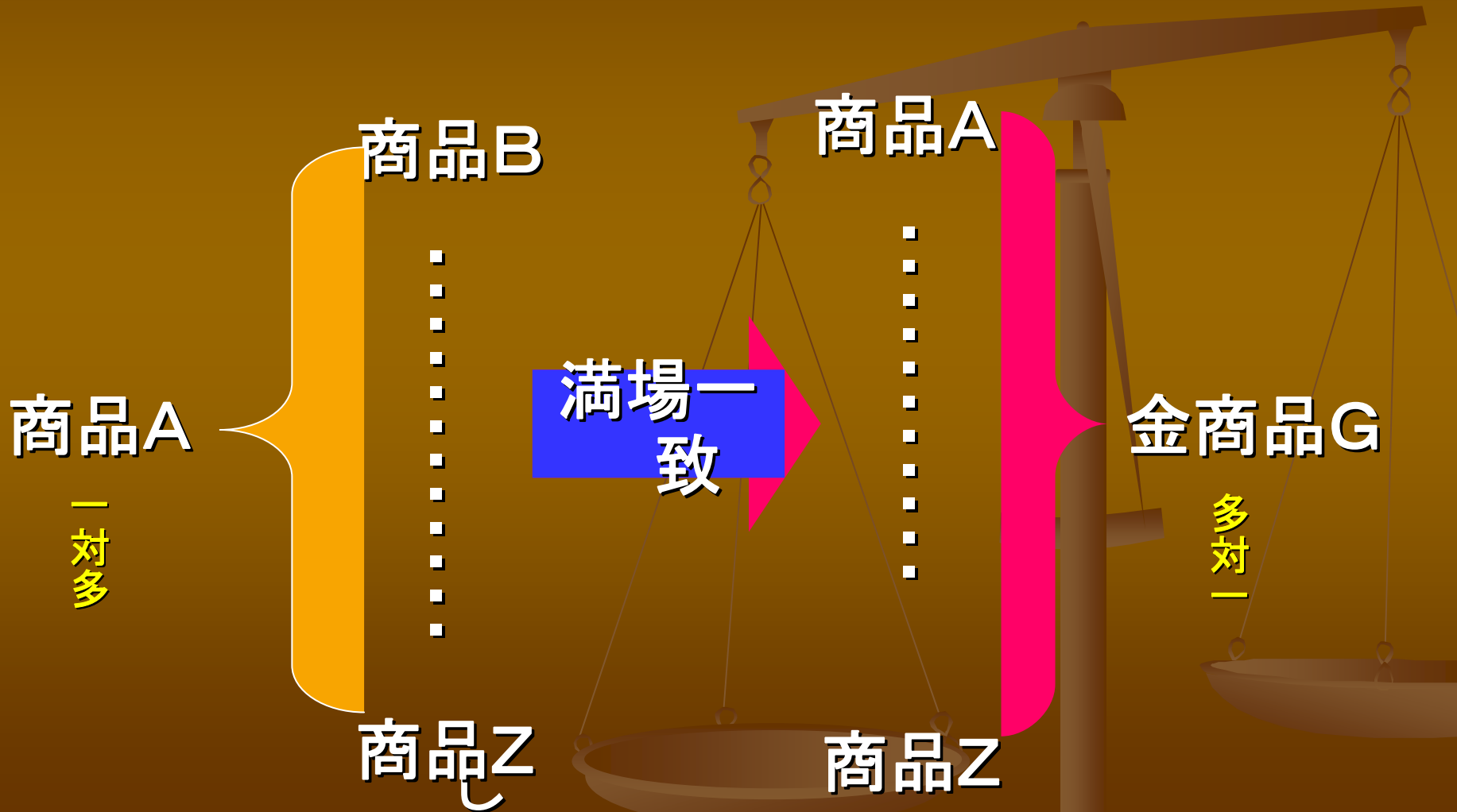
第3章 貨幣生成から関係力ア プローチへ(1)

★マルクスの貨幣アプローチ
(一対一； 一対多； 多対一)

商品A = 商品B (一対一)



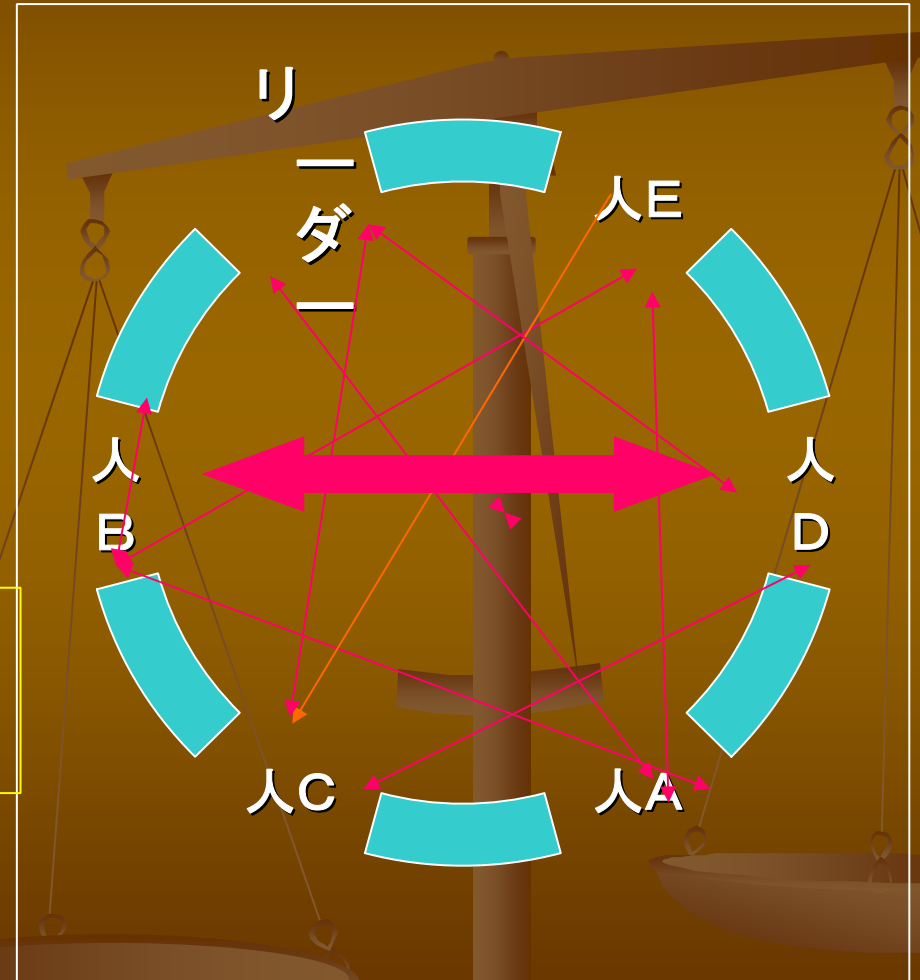
第3章 貨幣生成から関係力アップ ローチへ(2)



第3章 貨幣生成から関係力アップ ローチへ(3)

多対多 の 欠落

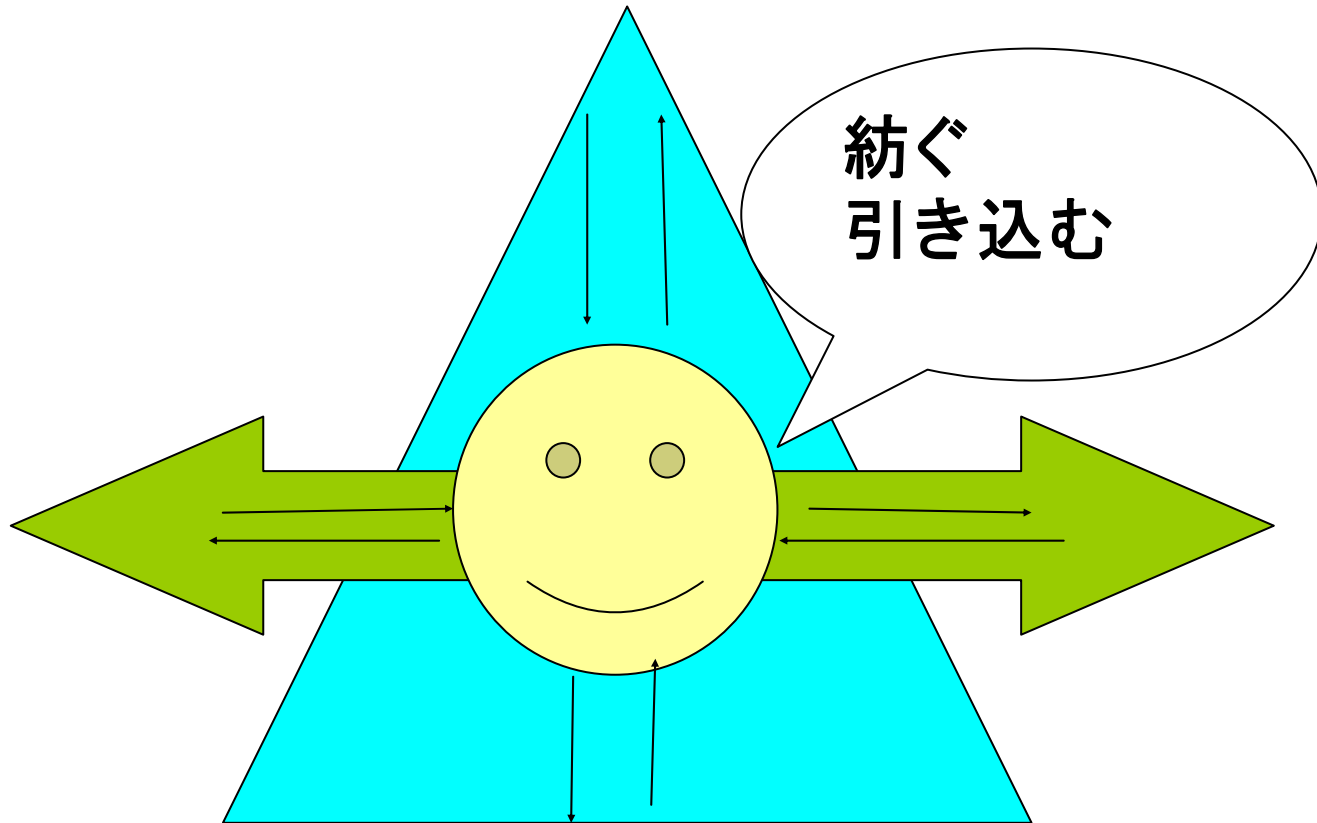
(参考)ホッブスの万人
が万人に対する闘争



第4章 関係力アプローチから

- 欲求の三層構造のループ図
- 二項対立を超えて → 地域通貨
- 基礎概念としての「関係力」
→ 引き込む関係力

ネットワークキング & アドボカシー



経済学概論A(社会科学概説) テスト

- 8月4日 14時20分～15時50分
- C1教室
- 出題範囲:拙著『野麦峠に立つ経済学』(春風社)
- 論述形式
- 不可の例:引用が大部分。個性がない。余りにも文章が短い。
- 総合評価:班発表へのコメント(各1)と本テスト(2)という比重で総合的に評価する